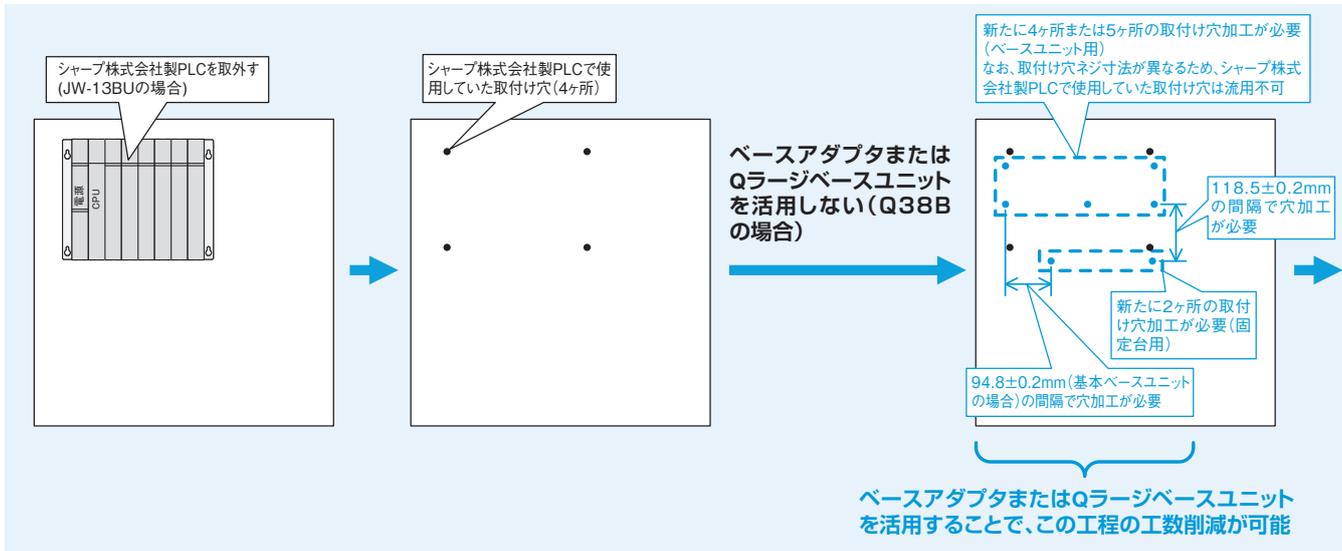


ベースアダプタまたはQラージベースユニット(三菱電機株式会社製)を活用したリニューアル

ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

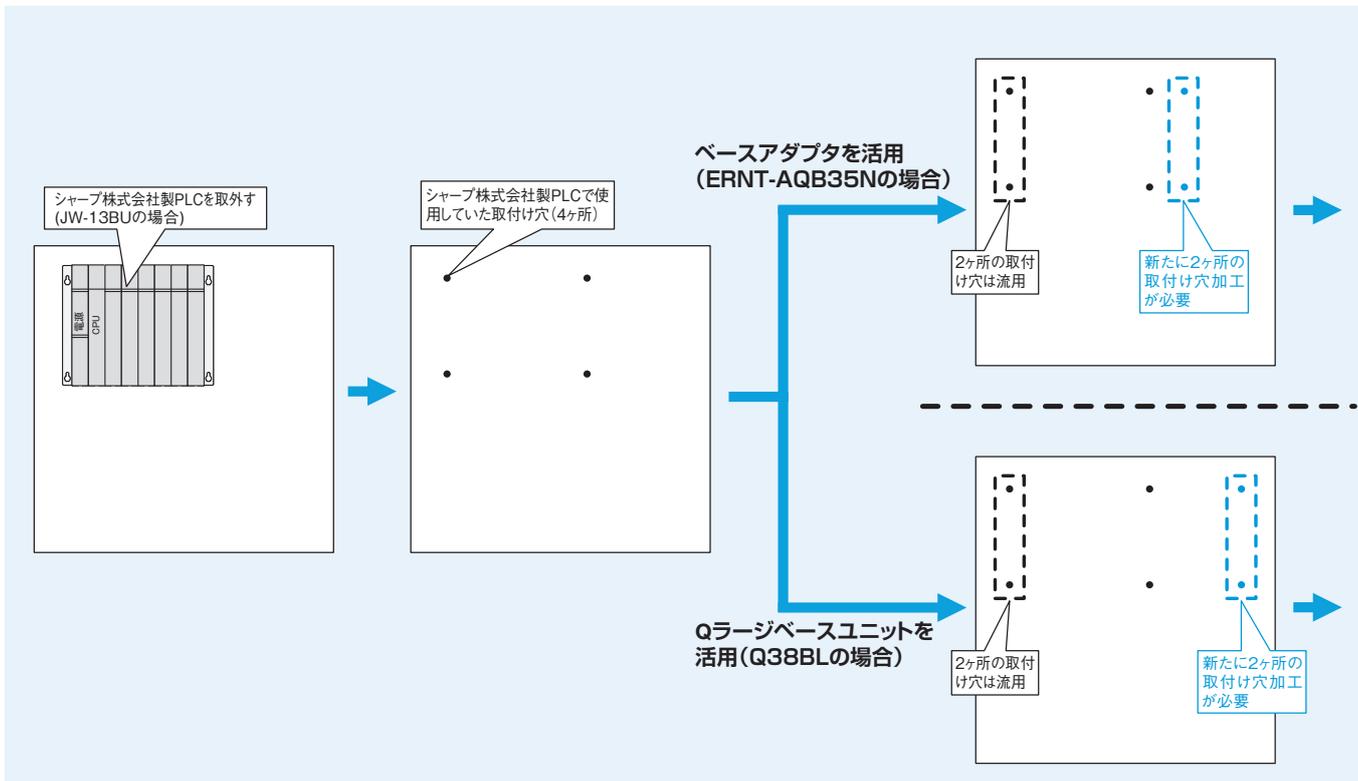
ベースアダプタまたはQラージベースユニットを活用しない場合

新たな6ヶ所または7ヶ所の穴加工だけでなく、Qベースユニットと固定台間の寸法出しが必要となります。



ベースアダプタまたはQラージベースユニット (MELSEC-Aシリーズ 大形 → MELSEC-Qシリーズ用) を活用する場合

ベースアダプタまたはQラージベースユニットは、取付け穴の縦寸法がJWシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2ヶ所以下となります。
(なお、置換え前後で取付け寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります)
左側の取付け穴2ヶ所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」(P.175)、「置換え時の外形寸法および取付け寸法比較」(P.176)および「スロット位置」(P.179)を参照ください。

